

平和のバトン

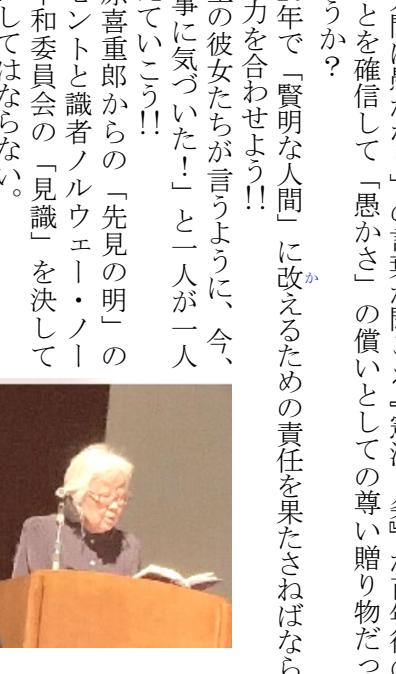
の時、時の首相であつた幣原喜重郎には「哲学者ルソーの『人類は賢明か』」「人間は愚かなり」の言葉が聞こえ『憲法9条』が百年後の世界のあることを確信して「愚かさ」の償いとしての尊い贈り物だつたのであるだろうか？

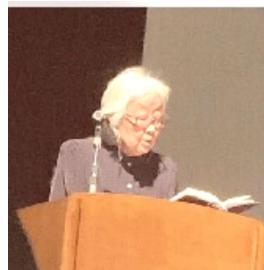
れた20年で「賢明な人間」に改えるための責任を果たさねばならない。
「一歩！力を合わせよう！！」

高校生の彼女たちが言うように、今、「その事に気づいた！」と一人が一人に伝えていこう！！

幣原喜重郎からの「先見の明」のプレゼントと識者ノルウェー・ノーベル平和委員会の「見識」を決して反古にしてはならない。

決して「反古」にしてはならない！！





朗読する土井さん (2月2日)

「無力」だけれど！ 「無力」ではない！！

私たち一人ひとりは「無力」だけれど、でも私たちは決して「無力！」ではありません！」その声に胸が震えました。 「すごい！」と叫んでしまいました。

その後先日2月2日山梨県立文学館講堂で催された『日本被団協ノーベル平和賞受賞記念イヴェント』のリレートークの席での高校生の方の発言でも、オスロの授賞式の時の高校生と全く同じ想いの言葉を聞くことが出来、私は未来に強い「確信」を持ちました。

「一人の力では何も変わらないが、その一人が何か行動を始める事が・・・！そうだ、今小学生の妹に私が今気づいたことを『コトバ』として伝えられるチャンスが来た時のために、忘れず大切に心に留めておかなければならない、そういうふうに一人が一人に、伝えることで、未来を変えことにつながる！小さな一步を踏み出そう！」とトーキングを締めくくったのです。

被爆80年
原水爆は人間に對して何をしたか！
原水爆に對して人間は何をすべきか！
原水爆を作ったのも人間！
原水爆を使つたのも人間！
ならば
原水爆をなくすのも人間！
人間が責任をもたねばならないことだ！
心で、体で被爆の体験を聞いて、考えねばならない！

わが町の
平和活動

わが町の

油の写真を撮り続けている福田良二さんと甲府市議会議員の金丸三郎さんが報告。福田さんは2022年から3年間で行われたすべての空中給油の写真と今まで起こった各地での事故の記事をスライドで示し、危険な空中給油はやめるべきだと訴えました。金丸さんは危険な空

2月8日(土)、甲府市で「空中給油中止を求める市民のつどい」が、甲府北西9条の会、甲府市9条の会主催、甲府市平和委員会共催で開催されました。

中給油を甲府市上空で行うことを放置しては市民の安全を保証できないと12月議会で質問し、今後は市議会で意見書などの提案をしていこうと考えている

慮するよう求めている」などの回答で空中給油中止については全くふれていません。今回のつどいは甲府市会議員5人と南アルプス市会議員1人も参加しました。参加者からは、「貴重な映像をみせてもらえてよかったです」「会派を超えての一点共闘ができる甲府市議会はすばらしい」などとの意見がありました。

南アルプス市で学習会『沖縄の今』

に負担をさせていこと
を知ったからだと言
います。ひとりで辺野古
に通い、埋め立て工事
を遅らせるため海上で
ボートや船で情報を把
握していると自衛隊に
阻止される繰り返し
ています。砂利搬入口
では、昨年の死亡事故
を受けて以降人を入れ
させない対応になり、
搬入車も増加。環境保
護と称した珊瑚礁の移
植もおぎなりな方法で、
白化が進んでおり、逆
に環境破壊だと言いま
せん。これまで沖縄で活動
する若者達の会も紹介
されました。講演を受け、遠隔地に住んでい
るが自分事として考え
戦争反対の行動が必要
などの意見が出されました。
（河村ゆかり）

南アルプス市で学習会『沖縄の今』

「陸地では行わない」と国会で答弁がされているにもかかわらず常態化しています。甲府市平和委員会では市に何度も中止を求める要請をし、安保破棄実行委員会や総がかり行動実行委員会は署名運動に取り組み、山梨県に要請しました。しかし、山梨県知事や甲府市長は「安全面に最大限配

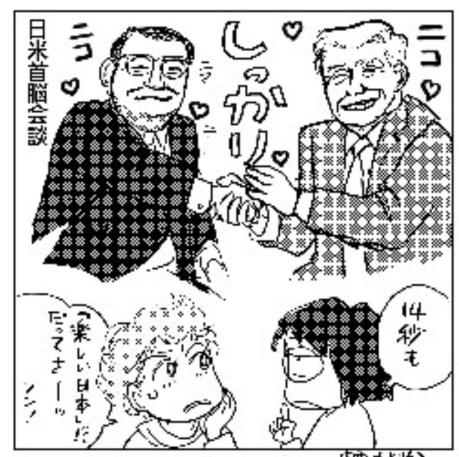


ホームページができました

「山梨県平和委員会」で検索してください。
URL は「yamanashipeace.com」。こちらで検索してもOK。



楽しいのはアンタたちだけ！



自衛官の募集に関する署名に取組もう!!

- ①奈良地裁に違憲・違法の判断を求める署名
 - ②国に名簿提供の要求及び住民台帳の閲覧の

中止を求める署名
※平和委員会独自の活動。訪問と対話で!!

署名用紙は挟みこんであります